

令和8年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年11月14日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社

コード番号 6061 URL <https://www.uni-green.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安部 豪

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 野呂 千佳子

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 072-649-2266

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年6月期第1四半期の連結業績(令和7年7月1日～令和7年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年6月期第1四半期	4,810	16.3	446	93.6	511	352.1	317	—
7年6月期第1四半期	4,136	31.3	230	6.6	113	58.5	19	87.6

(注) 包括利益 8年6月期第1四半期 372百万円 (349.9%) 7年6月期第1四半期 82百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年6月期第1四半期	69.00	—
7年6月期第1四半期	4.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年6月期第1四半期	17,144	13,701	79.7
7年6月期	17,035	13,448	78.7

(参考) 自己資本 8年6月期第1四半期 13,668百万円 7年6月期 13,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年6月期	—	0.00	—	26.00	26.00
8年6月期	—				
8年6月期(予想)		0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、令和8年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、令和8年6月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。詳細は、令和7年8月14日公表の「株式の分割及び効力発生日後の株主優待の変更、拡充に関するお知らせ」をご覧ください

3. 令和8年6月期の連結業績予想(令和7年7月1日～令和8年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,230	8.9	1,254	24.2	1,281	22.0	810	24.4	175.92
通期	22,840	11.4	3,001	13.2	3,050	15.4	2,010	11.4	218.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、令和8年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、令和8年6月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の令和8年6月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は436.円57銭となります。詳細は、令和7年8月14日公表の「株式の分割及び効力発生日後の株主優待の変更、拡充に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

8年6月期1Q	5,025,000 株	7年6月期	5,025,000 株
8年6月期1Q	419,890 株	7年6月期	419,890 株
8年6月期1Q	4,605,110 株	7年6月期1Q	4,652,237 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予測に関する事項は、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな景気回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、原材料・エネルギー価格の高騰や金融・資本市場の変動等の影響にも引き続き注視が必要な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、国内のレンタルグリーンの契約は計画通り推移したことに加え、大阪・関西万博による増収も寄与しました。卸売事業につきましてはアーティフィシアルフラワーや人工樹等の商材の売上が伸び増収となりましたが、小売事業につきましては関西エリアの集客の落ち込みにより減収となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,810,073千円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は446,570千円（同93.6%増）、経常利益は511,044千円（同352.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は317,754千円（同1,561.2%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、国内のレンタルグリーンの契約は計画通り推移したことに加え、大阪・関西万博による増収も寄与しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は3,375,857千円（前年同四半期比26.2%増）、営業利益は494,388千円（同50.9%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは20.5%（前年同四半期16.8%）、関西エリアは24.9%（同23.4%）、海外エリアは△7.6%（同△8.5%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、アーティフィシアルフラワーや人工樹等の商材の売上が伸び増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は360,220千円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益は41,581千円（同362.5%増）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、関西エリアで集客の落ち込みが大きく、減収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,231,433千円（前年同四半期比2.0%減）、営業損失は103,343千円（前年同四半期は営業損失120,820千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は17,144,834千円となり、前連結会計年度末に比べて108,929千円の増加(0.6%増)となりました。

このうち流動資産は8,668,768千円となり、前連結会計年度末に比べて230,044千円の増加(2.7%増)となりました。これは主に現金及び預金が376,393千円の増加、受取手形及び売掛金が184,024千円減少したことによるものです。また、固定資産は8,476,066千円となり、前連結会計年度末に比べて121,114千円の減少(1.4%減)となりました。これは主にのれんが45,950千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,443,276千円となり、前連結会計年度末に比べて144,355千円の減少(4.0%減)となりました。これは主に買掛金が87,372千円の増加、未払法人税等が220,608千円減少及び長期借入金が52,810千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,701,558千円となり、前連結会計年度末に比べて253,285千円の増加(1.9%増)となりました。これは主に、利益剰余金が198,021千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、令和7年8月14日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,664,727	5,041,120
受取手形及び売掛金	2,269,791	2,085,767
有価証券	299,950	300,161
商品及び製品	753,768	711,423
原材料及び貯蔵品	11,371	6,616
その他	492,804	574,282
貸倒引当金	△53,690	△50,604
流動資産合計	8,438,723	8,668,768
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,201,172	1,201,172
その他	5,111,929	5,109,949
減価償却累計額	△2,827,234	△2,678,542
その他（純額）	2,284,694	2,431,406
有形固定資産合計	3,485,867	3,632,579
無形固定資産		
のれん	1,871,077	1,825,127
その他	336,910	324,950
無形固定資産合計	2,207,988	2,150,077
投資その他の資産		
投資有価証券	1,530,928	1,302,194
繰延税金資産	449,503	469,227
投資不動産	521,994	522,175
減価償却累計額	△171,665	△173,625
投資不動産（純額）	350,328	348,549
その他	573,533	574,406
貸倒引当金	△968	△968
投資その他の資産合計	2,903,326	2,693,409
固定資産合計	8,597,181	8,476,066
資産合計	17,035,905	17,144,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	627,207	714,579
短期借入金	1,622	-
1年内返済予定の長期借入金	52,810	-
1年内償還予定の社債	15,000	-
未払法人税等	478,651	258,043
リース債務	153,645	154,367
その他	1,007,712	1,047,470
流動負債合計	2,336,649	2,174,460
固定負債		
退職給付に係る負債	259,841	261,178
長期未払金	242,283	242,222
リース債務	533,610	552,131
資産除去債務	191,972	192,178
繰延税金負債	4,716	2,548
その他	18,558	18,558
固定負債合計	1,250,983	1,268,816
負債合計	3,587,632	3,443,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	13,900,364	14,098,386
自己株式	△833,157	△833,157
株主資本合計	13,362,465	13,560,487
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	10,492	9,967
為替換算調整勘定	41,323	98,247
その他の包括利益累計額合計	51,815	108,215
非支配株主持分	33,991	32,855
純資産合計	13,448,272	13,701,558
負債純資産合計	17,035,905	17,144,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年7月1日 至 令和7年9月30日)
売上高	4,136,118	4,810,073
売上原価	1,611,681	1,794,747
売上総利益	2,524,437	3,015,325
販売費及び一般管理費	2,293,820	2,568,754
営業利益	230,616	446,570
営業外収益		
受取利息	7,890	8,110
投資不動産賃貸料	9,094	9,886
為替差益	—	36,359
その他	8,960	18,637
営業外収益合計	25,944	72,994
営業外費用		
支払利息	4,291	2,278
不動産賃貸原価	3,584	4,452
為替差損	131,991	—
その他	3,656	1,788
営業外費用合計	143,523	8,520
経常利益	113,038	511,044
税金等調整前四半期純利益	113,038	511,044
法人税等	95,996	194,989
四半期純利益	17,041	316,055
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,086	△1,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,127	317,754

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年7月1日 至 令和7年9月30日)
四半期純利益	17,041	316,055
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	-	△524
為替換算調整勘定	65,744	56,924
その他の包括利益合計	65,744	56,400
四半期包括利益	82,785	372,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,171	373,591
非支配株主に係る四半期包括利益	△386	△1,136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法としております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	561,686	304,754	320,733	1,187,175	—	—	1,187,175	—	1,187,175
グリーンサービス	841,286	314,916	325,071	1,481,275	—	—	1,481,275	—	1,481,275
卸売	—	—	—	—	211,708	—	211,708	—	211,708
小売	—	—	—	—	—	1,255,960	1,255,960	—	1,255,960
顧客との契約から生じる収益	1,402,973	619,671	645,805	2,668,450	211,708	1,255,960	4,136,118	—	4,136,118
外部顧客への売上高	1,402,973	619,671	645,805	2,668,450	211,708	1,255,960	4,136,118	—	4,136,118
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,600	4,376	—	6,976	105,109	—	112,086	△112,086	—
計	1,405,573	624,047	645,805	2,675,426	316,818	1,255,960	4,248,205	△112,086	4,136,118
セグメント利益又は損失（△）	235,977	146,301	△54,724	327,553	8,991	△120,820	215,724	14,892	230,616

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額14,892千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 令和7年7月1日 至 令和7年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	602,124	325,445	435,865	1,363,435	—	—	1,363,435	—	1,363,435
グリーンサービス	1,149,182	470,624	390,054	2,009,861	—	—	2,009,861	—	2,009,861
卸売	—	—	—	—	205,362	—	205,362	—	205,362
小売	—	—	—	—	—	1,231,413	1,231,413	—	1,231,413
顧客との契約から生じる収益	1,751,306	796,070	825,920	3,373,296	205,362	1,231,413	4,810,073	—	4,810,073
外部顧客への売上高	1,751,306	796,070	825,920	3,373,296	205,362	1,231,413	4,810,073	—	4,810,073
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,437	122	—	2,560	154,858	19	157,438	△157,438	—
計	1,753,744	796,192	825,920	3,375,857	360,220	1,231,433	4,967,511	△157,438	4,810,073
セグメント利益又は損失 (△)	358,674	198,579	△62,866	494,388	41,581	△103,343	432,625	13,944	446,570

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額13,944千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年7月1日 至 令和7年9月30日)
減価償却費	78,925千円	100,208千円
のれんの償却額	68,938千円	74,938千円